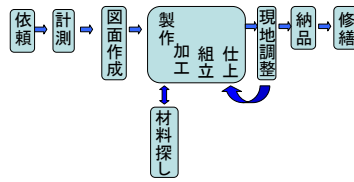


## 課題研究「福祉住環境」での スロープ製作

東京都立田無工業高等学校  
建築科 笹崎ひろみ

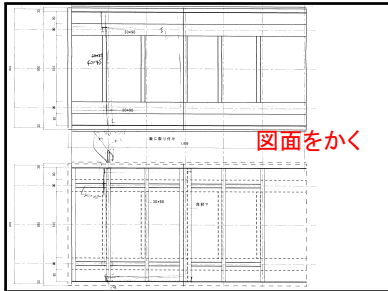
### スロープ製作の流れ



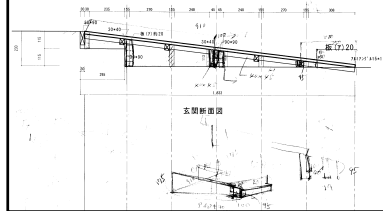
### 生徒とともに完成のかたちをかく

「要望」

- ①使用しないときは取り外して別の場所へ保管する。
- ②勾配は多少きつてもよい。1/12にこだわらない。
- ③少々の段差はあってもよい。



### 図面をかく



### 材料が手に入らない

- スロープ上を移動したときに、すべらないようにしたい。
- 何を使用するのがよいのか？  
塗料(グリップコートなど)  
マット  
テープ
- どこで、購入すればよいか？
- どのくらいの量なら購入できるのか？



### 問題点

- つくりたい形はイメージできるが、どのような構造にすればよいかかわからなかった。
- 予算
- 滑り止め材料の選定と購入方法
- 最初の想定と違う使われ方  
(使用しない時は、片付けるということであったが、最近では片付けられていない。)  
→ 雨に当たるので、部材が腐食していた。
- 使用していて、事故がおきたらどうなるのか？

### 良かった点

- 実物をつくることによって、図面上ではわからない改良点を発見することができた。  
重量があるので、分割をする。  
浮き上がり防止の部品をつける。  
地面の不陸を解消する。
- 多くの人の協力が得られたこと。
- 期日を決めたことを守ることができた。
- 学校外の人から感謝されて、生徒たちに自信が持てたこと。